

1. 「Facebook (フェイスブック)」とは

よくホームページやブログで、「いいね!」と書かれたボタンを見たことはありませんか。このボタンこそ、「Facebook」の入り口なのです。

「Facebook」は、全世界でユーザー数8億人、国内利用者数1,000万人を超える世界最大級のSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)です。プロフィールや日記、カレンダー機能、コミュニティなど、一般的なSNSの機能を備え、ユーザー登録では実名登録を原則とすることが一番大きな特徴と言えます。

2. 「Facebook」の背景

「Facebook」は、2004年当時米ハーバード大学の学生だったマーク・ザッカーバーグ氏が、学生の顔写真を載せたデジタルアルバムとして開発・公開したのが始まりです。2007年に利用者が「Facebook」上で、自由にアプリケーションを開発するためのAPIを公開し、また2008年には、「Facebook」内のソーシャルグラフをアプリに利用できるAPIを公開したことが、爆発的な普及のきっかけになりました。

ユーザーのプロフィールには、氏名や性別、生年月日といった基本データに加え、学歴や経歴、好きな音楽や映画、スポーツなどを記載できます。さらにどの友人とどんなテーマでつながっているかも記録されます。これらの交友関係情報が「Facebook」の利用者情報データベースに収容されています。こうしたSNSにおける人間の交友関係の情報を「ソーシャルグラフ」といいます。

また、2011年には、「Facebook」が誕生するまでを描いた映画「ソー

シャル・ネットワーク」が日本でも公開され話題になりました。

3. 他サービスとの違い

すでにある「mixi」や「Twitter」といった他のSNSとはどこが違うのでしょうか。「つぶやき」で大流行した「Twitter」は、相手の承認がなくてもフォローできるため、一方的につながることができ、相手が誰であるかより、相手が発信する情報に興味を持ち、つながっていくことが多いため、細かく言えばSNSとやや異なります。

一方「mixi」はSNSとして国内最多のユーザー数を誇りますが、「Facebook」との一番大きな違いは、「Facebook」が実名登録を原則とし、実際にそうしているユーザーが多いのに対し、mixiは実名推奨ではあっても、現状では匿名の利用者が圧倒的に多い点が挙げられます。

個人情報を守るという観点で言えば、インターネットに実名を出すのは危ないとも言えますが、しかし匿名で、インターネットのコミュニケーションサービスを利用する場合、名前だけでは本人かどうか判断できません。匿名性が高いサービスには、なりすましによるトラブルはつきものです。「Facebook」は実名を原則とすることで参加メンバーの実社会での顔と名前が見えるため、そういったリスクが少ないと言えます。また「Facebook」は、プライバシー設定によって個人情報の公開範囲を決めることができるため、誰でも個人情報にアクセスできるわけではありません。

4. 「Facebook」の魅力

「Facebook」の利用者は、実社会での交友関係をもとに友人を探した

り、共通の知人同士を紹介し合ったりします。単なるリンクや、面識のない他人が薦めるコンテンツではなく、信頼できる友人が興味を持っているコンテンツや商品のため、クリックされたり他人に推薦されたりする可能性が高いのです。その情報伝播機能の1つが、冒頭の「いいね!」ボタンです。

気に入ったコンテンツの「いいね!」ボタンを押すと、そのコンテンツは友人全員に共有されます。さらにそのコンテンツに友人がコメントをつけ、コメントが別の友人へと伝播していきます。知人が知人を呼ぶ口コミ効果を期待して、「いいね!」ボタンを使ったキャンペーンを展開する企業も増えています。

5. 「Facebook」の今後

8億人を超える市場は、企業にとっても魅力が大きく、利用者同士の口コミ効果を期待する企業や、「Facebook」の利用者に向けて製品やサービスを提供する企業など、今後ますます多くの企業がこの市場へ参入してくるものと思われます。

「Facebook」をはじめとするSNSは、使用している人といない人の情報格差を広げます。複数のSNSを使い分け、情報を取捨していくことができる人には、さらに有益な情報が集まることになるのではないのでしょうか。

参考URL: <http://ja-jp.facebook.com/>

※「Facebook」をはじめとする各社の会社名、サービス名、商品名は、各社の商標あるいは登録商標です。